

お月さまと遊べる親子

2012.2

板橋区板橋地域 親学子育て講座 1月19日・28日

水辺公園で、フィールドワーク
「この草何だろう？」



●散歩したら自然が街中にたくさんある。ゲーム機で遊ぶよりよっぽど奥行きがある。●親がまず自然を感じることに興味を持つこと五感を研ぎ澄ますこと。

●手づくりのお話や葉っぱで作ったり、お話を作ったりすっごく楽しく勉強になった。



センスオブアースは、板橋区の成増社会教育会館（茂木和枝氏）より依頼を受け、2歳以下のお子様を持つヤングママパパに、自然遊びの楽しさを2日間にわたり味わっていただきました。若い父母のみなさんは、まず、自分から自然を感受して、その感触の楽しさ、感動、創作の楽しさを味わいました。題材は、先月号で紹介した、「お月さまが見た小さな

お話十五夜」それを聞いてみなさんが創作も。「イチョウの精キロリの不思議ないのり」紙芝居とイチョウの絵の創作活動、次の会では、石神井川の水辺公園をフィールドにカードでたからものさがし、ドングリのコマづくり、松ぼつくりのペンダントづくり等です。身近な自然から、新たな感動を味わって、参加されたみなさんの表情はやさしさにあふれていました。大人がまず、自然と楽しむこと、しあわせになること… です。

ヤングママたちの願い

1. 自然とたっぷり遊びたい。
2. 四季を感じる子どもに育てたい。
3. イメージを働かせていろんな創作をしてみたい。
4. 自然に触れて物語を作りながらお話が出来る親子になりたい。
5. 小さい時から自然にふれさせて育てたい。
6. 身近なもので楽しく子どもと遊べることを学んだ。
7. 水たまりで思い切りバシャバシャ走り回りしたい。



8. 第一は子どもと接すること。
9. 公園の緑にたくさん触れたい。
10. 子どもとたくさんフアンタジーの中で遊びたい。
11. 子どもも植物とお話が出来たら嬉しいと思うので、
ママ劇場をしていっしょに楽しみたい。
12. とても盛りだくさんで楽しい時間でした。
13. 遊びを優先して娘と楽しく過ごす時間を大切に自分にもゆとりを持てるようにしなきゃと思った。



お母様たちが作った「お月さまが見た小さなお話」



1. 「図書館で絵本を読みたくて帰りたくなかったよ。」「えほんとおそろびたかったね。でも、お月さまが、こんばんは、そろそろぼくの時間だよって言うからお家に帰ろう。」
2. 「お月さまはバス乗ったことある?」「ないよ。」「じゃ電車は?」「ないよ。」「飛行機もないの? ぼくはあるよ。」「ワタシ(お月さま)は乗り物に乗ったことはないけど、うかんでいられるんだ。」「手品かな。」「手品じゃないよ。」「おやすみなさい。」
3. 「お月さま、悠はきょうもおかゆを全部食べられました。」「ワタシ(お月さま)は悠さんは元気に大きくなれると思うよ。」といってるよ。(ママ)
4. 「車に乗っている時、お月さまが見えた。また見えた。またまたずうっと、ついてくる。修ちゃんのこと好きなんだって。」
5. 「ふかふか葉っぱでいっぱい遊んだね。はっぱはっぱをお月さまにかけてあげよう。」「あったかくて、気持ちよくて、ワタシ(お月さま)はもう眠くなったよ。」
6. 「かのんちゃん、ママは小さいころお月さまと追いかけてこしたことがあるよ。ばあばにおんぶしてもらって空を見たらお月さまがずうっとママをおいかけてきたの。ばあばはお月さまがママのことだいすきだからずうっと追いかけてきているんだよとおしえてくれたよ。かのんちゃんも追いかけてこしてみね。」
7. 「今日お月さまにあえてうれしいな。」「ワタシもゆうちゃんにあえてうれしいな。」

1月17日 赤塚ハーメルン公園

4歳児タンポポ組「いもむしのたからさがし」

1月26日 城北公園

3歳児チューリップ組「同じものを見つけよう」「木の顔」など

生き生き活動した4歳児タンポポ組

1年で最も寒い、大寒もなんのその、蓮根保育園の4・3歳児と保護者のみなさんが、それぞれの日に、実に活発に、公園で自然遊びのゲームで楽しみました。

保育園のご指導で子ども達の健脚なのには驚きますが、それと同じくらい、お母様方と渡部園長先生の脚力と元気の良さと無邪気さは抜群でした。そしてとっても爽やかな空気が流れた瞬間でした。以下、感想の一部ですが、ご紹介します。

4歳児保護者 ◆今日は目いっぱい遊ぶぞと決め参加。久々にわが子に集中できる時間でした。頑張って歩く道のり、公園での遊びぶりに、感動しました。一つ一つが一生懸命で… 自宅へ帰り夜、娘の寝顔を見ながら、日々を反省。これからはもっと、遊ぼうね。

◆みんなで冬の自然に触れ合う機会がなかったので、楽しむことが出来ました。一生懸命虫を探す姿や鳥、風の音を聞く姿に感動しました。◆自然との触れ合いは工夫次第でこんなにも楽しいとは、思

わず童心になって楽しんでしまいました。子ども達の生き生きした表情も素敵でした。葉のにおいを感じたり冬に虫さがしもあまりできないことでもおもしろかったです。「キロリのオニゴッコ」職場で実践してみます。◆おにごっこでは、子ども達に挟み撃ちされ捕まてしまいました。素晴らしい連携プレーと想像を越える俊足ですね。落葉がふわふわで気持ちがよく、ハイジの「干し草のベット」を思い出しました。◆親子で野性的なところがあるので、自然遊びが、とても楽しく子どもと一緒に夢中になってしまいました。仕事に出ていると昼間外に出ることがなく、お日様ってこんなにあったかいんだと言う発見も出来とても幸せな気持ちになりました。



3歳児保護者 ◆子どもは風の子と言いますが… あの寒い中、元気いっぱい走り回る姿を見てとても楽しそうでした。木にお顔を作ったり、動物のパズルも子ども達の想像力等が拝見出来てよかったと思います ◆楽しめました。でも寒かった！ ルールが単純なものがいいみたいです。動物合わせが一番楽しかったそうです。自然のものを使って何か作ったり、顔に見立てたり、普段からこれからもできると思います。メダカ先生が楽しかったです。◆学習と遊びをミックスして取り入れたプログラ



ラムだと思いました。数を減らし、一つのプロにもう少し時間をかけてもいいですね。このような機会が



増えるのは素晴らしいと思います。◆休日公園に行くと遊具や砂遊びなので、自然遊びは親子で楽しめてよかったです。宝探しは親子でいろいろ探しましたが、見つけたのは少しでした、が楽しかったです。◆プログラムが多くて、ちょっとおなかいっぱいだったかも。おにごっこが楽しかった。2～3回位、繰り返して遊んでもよかったです。ドングリや松ぼっくりのお土産に子どもはとても喜んでいました。

渡部法子園長先生—4歳児にとっては「キロリのおにごっこ」が、とても印象的だったようです。外に出ると「キロリキロリキロリ」の呪文と共におにごっこを楽しんでいます。クスノキの葉もポプリにして玄関においてあります。ちょっとした工夫でこんなにも遊びが楽しくなり、そして自然に目を向けるポイントを教わりました。今回学んだことをいかに発展させるか課題をいただいたと思います。



4歳児タンポポ組担任 宣場巧枝先生・石井カツ子先生—17名の保護者が参加しました。子どもたちは遊んで楽しんでいる場所だったので、「こっちだよ」保護者をリードする姿や葉っぱや虫を友だちや保護者と一緒に探すのが何とも楽しそうでした。子どもたちは、おにごっこが大好き。キロリキロリのことばが楽しく保護者も子どもにかえり思う存分走り逃げ追いかけ、たっぷり遊べました。みんなの笑顔が素敵でした。保護者もつかず離れず、子ども達を中心に進めていたことがうれしかったです。冬ならではの発見があり楽しい会となりました。

3歳児チューリップ組担任 佐藤道子先生・宮坂由美先生—まず、子どもたちがスタッフの名前をすぐおぼえたのにびっくり。“これから楽しいことがありそう。”という気持ちでリードできたと思います。親子でもこのような自然遊びをすることは無いと思うので、よい体験でした。木に目や鼻、口を付けて顔に見立てる遊びはどのグループの木も表情が出てかわいくなり



木に愛着がわく感じがしました。豊富なプログラムの中に、静と動のバランスが組み込んであり親しみのあるゲームに生き生き楽しめていました。自然に生きる動物、植物の成長の話題、等とても具体的であり自然環境の遊びへの広げ方に大変勉強になりました。



野鳥観察会—芝川遊水池の自然を訪ねる会—のご案内

日時:2012年 2月18日(土)10時30分～15時●集合・解散:JR 武蔵野線東浦和駅前

(詳しくは、SOEホームページへ)

《お問い合わせ・お申し込み》

(センスオブアース) mail:info@npo-soe.jp tel & fax:03-3960-6052

(エコポリスセンター) tel:03-5970-5001(担当 田辺)

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052

e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp